

7月2日、日吉ダム建設時に水没した天若の5つの集落(上世木、楽河、沢田、世木林、宮村)の家屋、約120戸の家々のあかりを、ダム湖面に再現する天若湖アートプロジェクトが開催されました。

ライトの設営は、早朝から実行委員の摂南大学の学生が行い、GPSで位置を特定し、集落のあった場所ひとつひとつ正確に設営されました。

心配された天気も持ち直し、雨上がりの湖面を覆うかすみの中、湖面に浮かぶ“家々のあかり”をたどり、当時の暮らしや風習に思いを馳せ面影を探る人の姿や、幻想的な風景にシャッターを切る人の姿がありました。



▲かすみが包む幻想的な家々のあかり

「かすみに浮かぶ集落に馳せる思い」

7/2 天若湖アートプロジェクト

みんなのひろば  
まちの話題を紹介します



▲サイクルグリーンツアースタート時の様子

7月29日から2日間にわたり、美山の自然を駆け巡る「京都美山サイクルグリーンツアー」が開催されました。延べ1,137人が集い、日々鍛えあげた自慢の脚力を競い合いました。

11カ所のチェックポイントを巡ると全長125kmになる本大会。各地区に名物の食材を堪能できる場所があり、鮎の天ぷらや美山牛乳を使ったドーナツが地元住民によって振る舞われました。中でも鮎の天ぷらは揚げるたびに完売し、食べられなかった東京都在住の方は「来年も完走と名物を全て食べることを目標に頑張りたい」と話されていました。



▲閉会式後の記念写真

「完走か完食か。自然食材満喫ツアー」

7/29・30 京都美山サイクルグリーンツアー

「ふるさと南丹市の  
夜空に大輪の花火」



▲八木の夜空に開く大輪の花火

(8/14 第71回京都南丹市花火大会)

第71回京都南丹市花火大会が、同実行委員会の主催により八木大堰川畔で開催されました。点火前のオープニングイベントでは6団体がパフォーマンスを披露し、会場を盛り上げました。また、毎年花火大会の翌日に行われる「花火大会クリーン大作戦」への参加を呼びかける「エコ宣言」が八木中学校生徒会長によって行われました。

午後7時30分に打ち上げが始まると、多くの来場者が花火に魅了され、歓声をあげながら、夏の夜空に咲いた花火の美しさに見入っていました。